

日本のモビリティ産業の変革を支える試験・認証拠点群

会社概要



会社名

株式会社UL Japan

親会社

UL Solutions Inc. (アメリカ)

進出時期・地域

1993年 東京都
2003年 三重県伊勢市へ本社移転

進出形態

営業拠点、試験所

他の国内拠点

愛知県、千葉県、
東京都、神奈川県、京都府

主な事業内容 自社の強み

安全科学分野における世界的企業として、100か国以上にサービスを提供している。試験・認証・検査サービスに加え、ソフトウェアソリューションやアドバイザリーサービスも展開。製品・部品・素材の認証だけでなく、開発段階からの試験にも対応。



進出の背景・目的

- 1993年、アメリカ本社の100%出資により日本法人を東京に設立。
- 日本の試験機関と契約し、認証・監査サービスを国内で開始。
- その後、本社を横浜へ移転し、試験体制を構築。
- 2003年、三重県伊勢市の代理店と合併し、本社を伊勢市に移転。
- 個客のニーズに応えるため、試験から認証・監査まで一貫したサービスの提供を開始した。

1993

進出後の成果

- グレーター・ナゴヤ地域進出後、事業を拡大している。
- 2017年6月には、愛知県みよし市に自動車部品向けEMC試験所である Automotive Technology Center を開所。
- 直近では、2024年5月に自動車のEV化に対応したバッテリーエンクロージャ材料スクリーニング (BEMS) 試験所を、伊勢市本社に開所。
- 2025年11月には、日本初となる電動モーター、エネルギー効率試験所を伊勢市内に開所。

2003

地域への貢献

- グレーター・ナゴヤ地域は自動車産業やプラスチック素材産業が集積しており、研究開発段階から積極的に支援することで、安全性に優れた製品の開発、供給に貢献している。
- また、試験所拡張に伴う人員確保については、日本国内でエンジニアを積極的に採用しており、地域の雇用創出にも寄与している。

2025

今後の展望

- モビリティ産業の変革に対応し、2026年度下期には愛知県豊田市に Automotive Technology & Innovation Center の新設を予定。次世代自動車用の駆動モーターやeAxleによる、ブレーキ、エンジン制御などのシステムに誤作動を引き起こす可能性のある電磁妨害を防ぐため、その評価試験サービスを提供することを目的としている。

将来